

令和3年度（2021年度）の活動記録

【弥彦村スクールサポーター通信 vol.11】

2月は、小学校3・4年生のそろばん学習がありました。毎年、このそろばん学習でご活躍いただいているのが、村でそろばん教室の先生をされている小島さんです。小島さんは、スクールサポーター制度が始まったころから、初期メンバーとして登録し、学校のため、子どもたちのためにとそろばん学習のボランティアを引き受けてくださっています。授業では、実際に一人一人がそろばんを使い、指を動かしながら計算の仕方を学んでいました。子どもたちからは、「たのしい」「おもしろい」「むずかしい」「わかった」「できた」と、様々な感想が聞かれ、また、「これであってますか」と積極的に質問する姿も見られました。

一生懸命学習する子どもたちに、丁寧に指導している小島さんですが、時折冗談も交えながら、この活動を心から楽しんでいる姿が見られ、こんなふうにサポーターの皆さんが充実できるような活動を今後もコーディネートしていきたいと改めて思いました。

（地域教育コーディネーター 阿部）



令和4年2月 小学校で指導する小島さん

【弥彦村スクールサポーター通信 vol.10】

2学期最後の活動は、調理実習のサポートでした。

小学校の5年生は1学期から枝豆について学習してきました。その知識と、活発なアイデアをもとに枝豆レシピを考え、調理実習で作ってみることになりました。

一緒に活動したサポーターは、子どもたちのアイデアに驚きながらも、一生懸命子どもたちが考えたレシピから美味しいものができるよう、ともに工夫する姿が伺えました。子どもたちと地域のサポーター世代を超えて一緒に調理する姿はとても楽しそうで、充実した時間となりました。



令和3年12月 小学校家庭科室にて

3学期が始まり、今年度もまだまだ一緒に活動していただけるサポーターを募集しています。できるときにできることを！ぜひ、一緒に活動してみませんか？

（地域教育コーディネーター 阿部）

【弥彦村スクールサポーター通信 vol.9】

先月、11月27日（土）に令和3年度弥彦村教育フォーラムがあり、学校関係者や地域住民など、23名が参加しました。テーマは、「子供が元気な村づくり～村がつながり、地域で育てる『やひっ子』～」でした。

われわれコーディネーターも参加しましたが、スクールサポーターの皆さんにも声をかけさせていただき、9名の方から参加していただきました。

アンケートには、「大人達の役割が大切」「自分にできることで『協働』しようという意識に目覚めた」など、それぞれの立場や視点で、地域が村の子どもたちのためにできることのヒントを掴んでくださっていたようでした。

子どもたちは、学校で学び、地域でも多くのことを学びながら成長していきます。その成長のためのお手伝いを、をこれからも皆さんとしていけたらと改めて思えた一日でした。

一緒に活動してくださる地域の方々、いつでもお待ちしております！

（地域教育コーディネーター 鈴木）



【弥彦村スクールサポーター通信 vol.8】



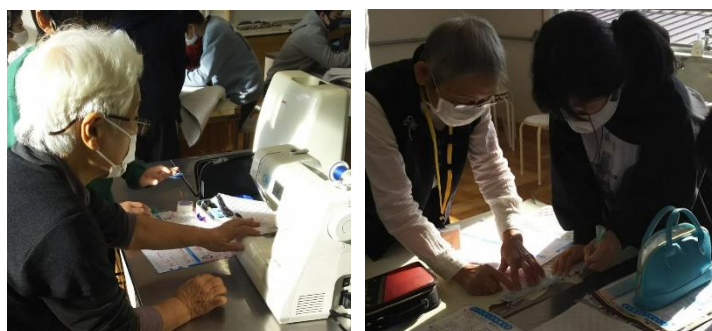
5月に小学校で子どもたちとサツマイモ植えをしてから、継続的に関わり続け、10月21日の収穫までサポートを行いました。

土の中から出てくる色々な形のサツマイモが出てくる度に、子どもたちが歓声を上げている姿が印象的でした。

（地域教育コーディネーター 阿部）

【弥彦村スクールサポーター通信 vol.7】

11月に入ると、小学校の家庭科の授業で、5年生のエプロン作り、6年生のカバン作りが始まりました。スクールサポーター数名が、しつけ縫いからミシンがけまでの作業をサポートしました。次々と子どもたちから手上がり、サポーターは子どもと一緒に確認し合いながら、完成に向けて作業をしていました。



（地域教育コーディネーター 阿部）

【弥彦村スクールサポーター通信 vol.6】

10月7日、弥彦小学校のマラソン大会がありました。

コースは、小学校のグラウンドをスタート・ゴールとし、小学校周辺の道路を周回するルートです。この日のために、子どもたちが一生懸命練習してきた成果を発揮



令和3年10月7日 マラソン大会コースにて

し、安全にゴールできるように、スクールサポーターは歩道を歩く歩行者や、道路を通行する車との接触事故が起きないように、コースの各所にて交通誘導・整備等を行いました。

普段の登下校時に、地域で見守り活動をしているサポーターも複数名参加してくださいました。

子どもたちの頑張っている姿に、応援にも力が入ります！

(地域教育コーディネーター 阿部)

【弥彦村スクールサポーター通信 vol.5】

9月24日、弥彦小学校の全校遠足「わかばウォーク」がありました。4コースに分かれて村内の名所や名物などのチェックポイントをめぐる遠足で、子どもたちは1～6年生までの縦割り班に編成され、そこにそれぞれスクールサポーターや保護者ボランティアが配置されました。長い距離を歩くので、班の子どもたちの体調管理や交通安全の確保などが主な役割でした。

子どもたちとの会話も楽しみながら、一緒に汗を流しました。また、4月からの子どもの成長も感じられました。

みなさんも、村の学校のために！自分のために！周りの誰かのために！「できるときに、できることを」一緒にしてみませんか？

いつでも登録をお待ちしています。

(地域教育コーディネーター 鈴木)



令和3年9月24日 ヤホールにて

【弥彦村スクールサポーター通信 vol.4】

少し時は遡り、まだ夏休みの8月18日、中学校礼法室の障子の張替えを行いました。かなり歴史を刻んできた障子を、声を掛け合いながら協力して張替え白く、明るく、張りのある障子に生まれ変わり、全員で達成感を感じることができました。地域の皆さま、協力してくださる学校関係者の皆さま、心から感謝しています。



令和3年8月18日 中学校礼法室にて

また、日ごろから新型コロナウイルス感染症の拡大防止にも努めながら、地域の皆さまの健康や学校の活動にも支障が出ないよう活動をしています。

みなさんも、村の学校のために！自分のために！周りの誰かのために！「できるときに、できることを」一緒にしてみませんか？いつでも登録をお待ちしています。

(地域教育コーディネーター 阿部)

【弥彦村スクールサポーター通信 vol.3】

昨年度から本格始動した弥彦村スクールサポーター制度（地域住民によるボランティア活動）。今回は、スクールサポーターの協働パートナーである学校運営協議会についてご紹介します。

学校運営協議会は、学校関係者、地元団体・企業等の関係者、PTA、地域住民などで構成される学校支援の専門機関です。

「弥彦村の子ども達は、将来こんな人間に育ててほしい」と、将来の子ども像を学校と地域で共有し、学校の先生は授業・特別活動などを通じて、子どもたちの成長に日々尽力しています。

ただ、子どもたちが学校ですごす時間は1日の3分の1程度です。学校で生じる様々な課題があっても、学校だけでは解決が難しいものも少なくありません。

そこで、**家庭や地域に何ができるか考え、実践に移すための働きかけを行うのが学校運営協議会の役割**になります。弥彦村でも様々な立場の人が自分にできる何かを考えて、一緒に子育てをしています。

(教育委員会 コミュニティ・スクール担当 徳永)



令和3年6月30日 第1回会議の様子

【弥彦村スクールサポーター通信 vol.2】

仲間を募集中！

5月より、弥彦小学校で朝の「**図書室ボランティア**」の取組をしています。



主な活動内容は、毎日8時から8時15分に本の貸出・返却を行うことです。サポーターには、毎月、従事可能な日・曜日を確認し、コーディネーターが調整することで、「できるときにできること」を、無理なく持続的に取り組める仕組みとなっています。

子どもたちと日々関わる中で、交わす挨拶や会話も次第に増えてきました。

サポーターの皆さんからは、「子どもたちから元気をもらっている」、「子どもたちと関わって楽しい」と、充実している様子が伺えます。

みなさんも、ぜひ一緒に活動しませんか。いつでもお待ちしております。

(地域教育コーディネーター 阿部)

【弥彦村スクールサポーター通信 vol.1】

5月22日、弥彦小学校では2年ぶりに運動会が開催されました。

この小学生たちの一大イベントのために、10日ほど前から、小学校グラウンド周りの草取りを中心とした環境整備活動をスクールサポーターで行いました。

土曜日の暑い日差しの中（右写真）、黙々と草取りをし、休憩時にはアイスクリームを食べながら、談笑している姿に心が温まりました。

村の子どもたちのために、皆さんも一緒に活動しませんか。

(地域教育コーディネーター 阿部)

